

# 議会への主要事項説明会 説明資料

令和7年2月14日  
鶴岡市

# 目次

- 1 農業人材の確保について . . . P2
- 2 新学校給食センターの整備について . . . P3
- 3 温泉施設の料金改定について . . . P5
- 4 「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の公表概要  
と今後の対応について . . . P6
- 5 こどもの遊び場整備方針の策定について . . . P8
- 6 ユネスコ食文化創造都市の推進について . . . P10

## 参考資料

- 1 原油価格・物価高騰等による大規模公共工事への  
影響及び対応について . . . P12
- 2 地方大学・地域産業創生事業について . . . P13
- 3 今冬の被害状況について . . . P14

# 1 農業人材の確保について

農業人材の育成・確保を目的に平成27年に設立した「鶴岡市新規就農者研修受入協議会」について、令和7年4月より庄内町・三川町との共同運営による庄内南部地域の広域組織「庄内南部新規就農者研修受入協議会」として改変し、一体的な活動を行う。

## 【鶴岡市新規就農者研修受入協議会の概要】

- 就農に向けた農業研修を実施する受け皿として市と農協が共同して立ち上げた研修受入調整組織（県内初）
- 研修受入農家での「実習」とSEADSや県普及課、山大農学部による「座学」を組み合わせることで営農までサポート
- これまでに協議会から46名の研修生が修了し、新規就農

受入協研修生	R2	R3	R4	R5	R6
新規研修生	12人	12人	12人	7人	9人
うちSEADS生	11人	9人	9人	7人	7人

※各人数は4/1時点  
研修期間は原則2年間

## 【庄内南部広域化によるメリット】（広域化も県内初）

- 実習先の選択肢（品目、栽培方法等）が広がる。
- 交流活動の広域化により、新規就農者同士のネットワークの拡大に繋がる。
- 「SEADS」の入校生や「食と農のビジネス塾」塾生等、募集PR活動の連携強化が図られる。
- 活動区域が庄内南部全体となり、庄内総合支庁等と一層円滑な新規就農者対策の連携が図られる。

## 【広域化後の取組】

- 広域の新規就農者学習会・意見交換会・交流会の開催（先行して令和7年2月18日に県と1市2町共催で開催予定）
- 首都圏等の就農イベントにおける共同出展
- 就農支援アドバイザーの増員（2名→3名体制）による研修修了後の新規就農者への相談・指導体制の充実

## 【構成組織】

鶴岡市、庄内町、三川町、各市町農業委員会、  
JA鶴岡、JA庄内たがわ、JAあまるめ、山形県

## 【今後のスケジュール（予定）】

R7.2.21 第2回設立準備委員会  
R7.3.27 庄内南部研修受入協議会設立総会  
R7.4.1～ 活動開始

## 2 新学校給食センターの整備について

基本構想で示している基本目標『食文化を継承し、児童生徒の笑顔あふれる安心・安全な学校給食の提供』の実現に向けて、パブリックコメントを経て、3月に「**新学校給食センター整備基本計画**」を策定・公表する。

### 【検討経過】

令和6年度は、PFI導入可能性調査業務委託により、地域の事業者と対話を図りながら、事業の実現性、事業者の参入可能性等を調査

この調査報告等を踏まえ、庁内検討委員会（委員長：副市長）を1月から3回開催し、建設地や事業手法など施設整備に必要な事項について議論し、基本計画案を整理

### 【基本計画の概要】

#### ＜主要事項＞

- 重点的に取り組む事項として、「**地産地消の推進**」や郷土食や行事食を取り入れるとともに、新たな調理方法も取り入れ、「**ユネスコ食文化創造都市**」・「**給食発祥の地**」としての取組を推進  
また、食に関する関心や理解を促すため、栄養教諭等による「**食に関する指導**」の実施
- アレルギー食専用調理室を設置し、アレルギー物質の特定原材料7品目（そば・落花生・卵・乳・小麦・エビ・カニ）の除去対応を段階的に充実
- 基本計画を踏まえ、令和7年度は新センターの整備と運営内容の具体化を図るため、「**運営準備委員会（仮称）**」を設置

#### ＜建設候補地＞

建設候補地の選定にあたっては、各学校への配送時間や都市計画法上の法的条件、周辺環境など複数の検討項目により「エリアの選定」を行った後、選定されたエリア（現給食センター周辺）から「候補地を絞り込む」

## 《 運営業務など官民の役割分担 》

鶴岡らしい給食の提供のため、献立作成や食材購入、食育指導等は市が責任を持って行い、効率的な運用が望ましい調理・配送・維持管理等は民間に委託

炊飯については、ただちに新たに整備するのではなく、引き続き山形県学校給食会への委託を継続

現在の給食センターの職員については、新センター移行後の他の職種も含む従事業務等に関する意向を確認しており、新センターでの継続勤務を希望する職員の意向を踏まえ従事業務を検討

		献立作成	食材調達	納品検収	食育指導	調理・洗浄	配送	残渣処理	維持管理
現状	市	○	○	○	○	○		○	
	民間						○		○
今後	市	○	○	○	○				
	民間					○	○	○	○

## 《 事業手法 》

P F I 導入可能性調査の結果等から総合的に判断し、財政削減効果のみならず鶴岡らしい給食の実現にあたっても効果的な手法と考えられるDBM方式（設計・建設・維持管理一括発注方式）により施設を計画的に整備

## 《 事業スケジュール 》

用地取得や造成工事、建設工事等の期間を考慮し、令和12年9月の供用開始を目指す

# 3 温泉施設の料金改定について

市内3温泉施設（ぽっぽの湯、ゆぽか、ゆ～タウン）は、コロナ禍による入浴者数の落ち込みが回復傾向にあるものの、物価高騰等により経費が増大している。また、湯野浜公衆浴場は、入浴者数が減少傾向にあるとともに光熱費等の経費が増大している。

そのため、施設運営の安定化を図るため、令和7年中に3温泉施設と湯野浜公衆浴場の大人料金等を引上げることを検討している。

## 【改定の検討内容】

	大人料金		こども料金 ※据え置き	その他
	現行	改定後		
3温泉施設	450円	500円	220円	
湯野浜(上区)	220円	290円	110円	個室料金や回数券等も引上げ
湯野浜(下区)	330円	400円	220円	

## 【今後の取組】

- 料金の引上げにあたっては、条例改正後に周知期間を設け、市民等への周知を図る。
- 各施設で取り組んでいる事業（ぽっぽの湯の親子イベント等）を強化するなど、サービス向上に取り組み、入浴者数の確保に取り組む。

## 【今後のスケジュール（予定）】

- 令和7年3月 条例改正案の提案
- 令和7年4月～6月 周知期間
- 令和7年7月 料金改定の実施

# 4 「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の公表概要と今後の対応について

## 【経過と概要】

- ①土砂災害警戒区域外での土砂災害の発生を踏まえ、国は「土砂災害防止対策基本指針」を変更し、より高精度な地形情報等により「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を抽出するよう都道府県へ求めた。
- ②県は国の指針に基づき、県全体で新たに7,161箇所を抽出し、令和7年1月30日に県HP上「土砂災害警戒システム」で公表した。

箇所数	現在の土砂災害警戒区域数	新たな「土砂災害のおそれのある箇所」		
		土石流	急傾斜地	計
鶴岡市	1,015	218	526	744
県全体	5,217	2,077	5,084	7,161

<新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」とは>

県が航空レーザー測量などにより機械的に抽出した箇所。今後、県が人家への影響などについて、現地の基礎調査を踏まえ、土砂災害警戒区域等に指定される可能性がある。

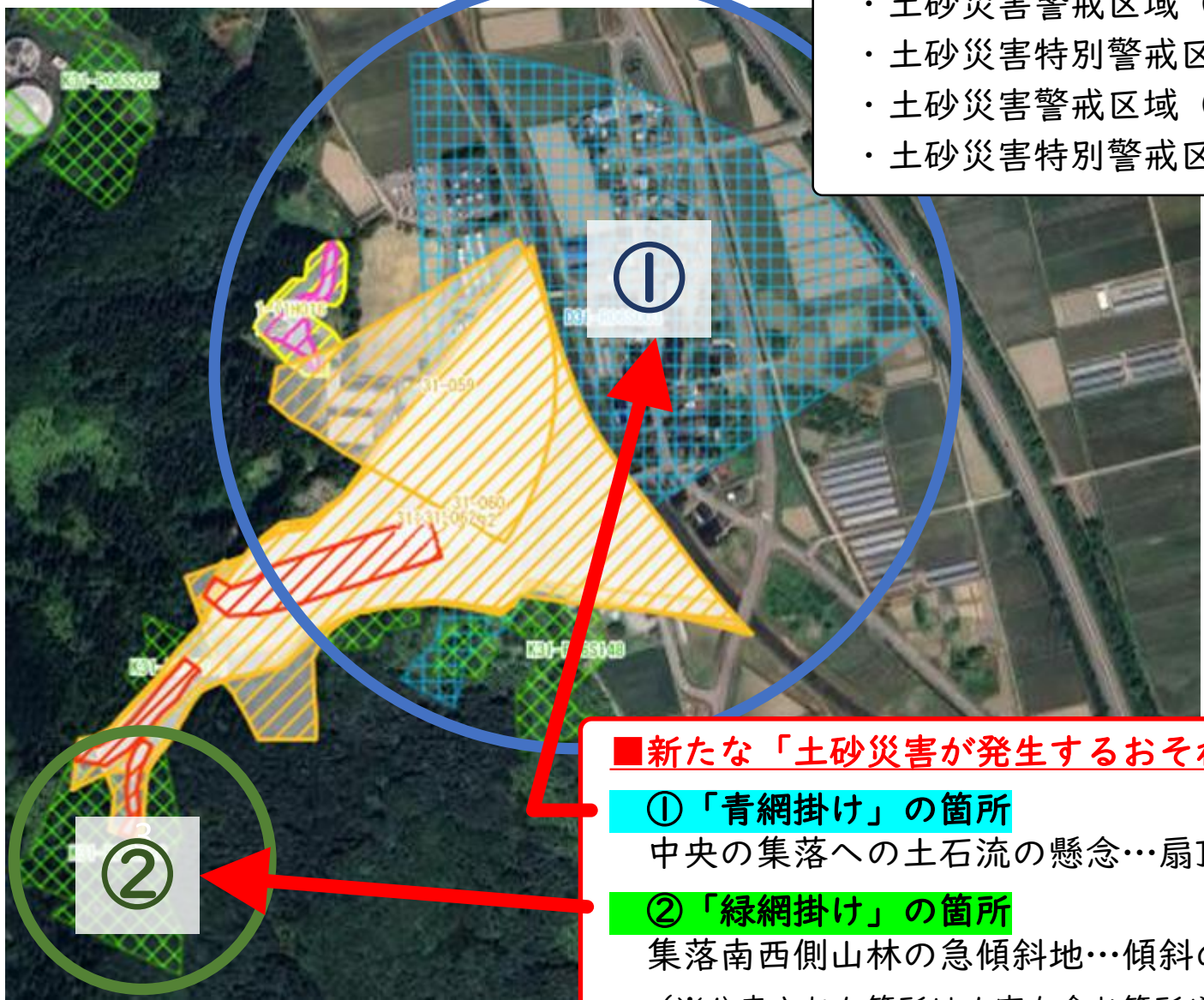
## 【今後の対応等】

- 県では、今後、抽出箇所の基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を進めていく。なお、今回、概ねの範囲を公表することで、近隣住民の方々等に土砂災害への「日頃の備え」をしてもらうこと等を目的としている。
- 市では、HP等により市民へ周知するとともに、今後、県の基礎調査等を踏まえ土砂災害警戒区域等に指定された場合は、速やかに土砂災害ハザードマップの更新を図るとともに、住民の災害への備えを促す。



# 県の土砂災害警戒システムにおける公表イメージ【参考例】

- 現行の土砂災害警戒区域等
- ・土砂災害警戒区域（土石流） ※茶色網掛け
  - ・土砂災害特別警戒区域（土石流） ※赤網掛け
  - ・土砂災害警戒区域（急傾斜地） ※黄色網掛け
  - ・土砂災害特別警戒区域（急傾斜地） ※ピンク網掛け



- 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」
- ①「青網掛け」の箇所  
中央の集落への土石流の懸念…扇頂部から下流で勾配2度以上
  - ②「緑網掛け」の箇所  
集落南西側山林の急傾斜地…傾斜の高さ5m以上、傾斜度30度以上  
(※公表された箇所は人家も含む箇所や人家への影響がない箇所が混在)



# 5 こどもの遊び場整備方針の策定について

こどもの成長に必要な屋内、屋外の遊び場の整備を図り、若者・子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるため、「鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会」委員や有識者等の意見を踏まえ、パブリックコメントを経て、3月に遊び場の整備方針を定め、公表する。

## 【鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会による協議】

委員構成：認定こども園・小中学校PTA関係者、公園管理関係者、福祉・障害関係者、公募委員等 15名  
これまで3回の協議会を開催し、遊び場整備の方向性及び遊び場整備方針について協議

第1回：令和6年10月29日開催 第2回：令和6年12月24日開催 第3回：令和7年2月6日開催

### 《委員からの主な意見》

- 遊びを担い、こどものキャプテンとなるような、大人の人材育成にも配慮して欲しい。
- 新たな施設を作るというより、既存の施設を有効に活用したほうがいい。
- 障害のあるこどもも一緒に遊べるような環境の整備が必要。
- こどもの体験活動や遊びの提供を行っている民間団体とも連携してはどうか。
- 鶴岡市は面積が広いので、市街地に大きなものを一つでなく、小さな多様性のある施設を各地に整備してはどうか。

## 【鶴岡市こどもの遊び場整備方針の概要】

### 《基本的な考え方》

- こどもの創造性や主体性を向上させる遊び環境の整備
- こどもにとっても大人にとっても魅力的で多様な遊び場の整備
- 鶴岡の地域資源を活用した遊び場の整備

## 《整備の方向性》

### ◆ 屋内の遊び場

- ・ 既存施設を有効に活用し、天候や年齢、障害の有無に関わらず、安全で親子が気軽に遊べる施設の整備
- ・ 施設の規模に応じて特色ある機能の整備

### ◆ 屋外の遊び場

- ・ 町や学区を越えて多くの親子が利用する場には大型遊具を重点的に配置し、機能を充実
- ・ 小規模な身近な遊び場は、遊具の機能維持や長寿命化により、安全に遊べる場を整備
- ・ インクルーシブ遊具の設置や設備のバリアフリー化

### ◆ 遊びを推進する取組

- ・ 遊び場を担うプレーリーダーの養成
- ・ こどもや若者、地域住民の参画の促進
- ・ 遊びや遊び場の情報発信の推進
- ・ 多世代交流の機会創出
- ・ 地域、民間団体・企業、行政の連携促進

## 【キッズドームソライの活用に向けた協定の締結】

こどもの成長を支えるため、天候に関わらず遊べる環境を整えるとともに、子育て世代の負担軽減を図ることを目的に、「鶴岡市のこどもの成長を支える屋内遊び場環境の推進に関する協定」を締結

## 《協定の締結者》

- 鶴岡市      ○ 株式会社SHONAI      ○ 保護者団体      ○ 障害者団体

## 《連携・協定事項》

- 年齢や障害の有無に関わらず遊べる屋内遊び場の環境に関すること
- 遊び場利用料の負担軽減に関すること

# 6 ユネスコ食文化創造都市の推進について

第2次鶴岡市食文化創造都市推進プラン（計画期間：令和7年度～令和11年度）について、庁内検討委員会や策定懇談会の意見を踏まえるとともに、パブリックコメントを経て、3月に策定・公表する。

## 【検討の経過】

- (1) 庁内策定委員会3回開催（令和6年8月、10月、令和7年2月）
  - 委員長：副市長、委員：部長級11名
- (2) 有識者との策定懇談会2回開催（令和6年10月、令和7年1月）
  - 意見聴取団体：①鶴岡市食文化創造都市推進協議会（構成団体）  
②鶴岡ふうどガイド ③鶴岡食のアンバサダー ④サスティナ鶴岡 など

### 《第2回策定懇談会での主な意見》

- 食や食文化の情報発信を拡充することが必要
- つるおか伝統菓子の担い手の確保や次世代に繋げていくための取組が必要
- つるおかの嚥下食のレベルが上がってきているので、取組に力を入れることが必要

《基本理念》 恵まれた豊かな自然と、歴史と伝統が息づき 人・地域・産業がともに輝く  
食文化創造都市鶴岡～食の理想郷へ～

# 【概要（2つの基本目標及び施策、取組例）】

## 基本目標－Ⅰ

## 食文化と共に創る産業振興

### 施策Ⅰ

ガストロノミーツーリズム推進による観光誘客の促進と交流人口の拡大

#### ◆取組例

- ・国内外のユネスコ創造都市の相互交流と連携の促進 **〔拡充〕**
- ・インターネット等を活用した効果的な情報発信 **〔拡充〕**

### 施策Ⅱ

魅力的な食の提供や食産業の担い手となる人材の育成・確保

#### ◆取組例

- ・料理人コンペティションの開催 **〔継続〕**
- ・嚙下食の提供による新産業や観光需要創出に向けた支援 **〔新規〕**

### 施策Ⅲ

持続可能な農林水産業の振興

#### ◆取組例

- ・有機農産物の生産拡大支援と理解促進 **〔継続〕**
- ・スマート・テロワール事業への支援 **〔継続〕**

**〔継続〕** 現行プランと同様の取組

**〔拡充〕** 現行プランから内容を発展させる取組

**〔新規〕** 第2次プランから新たに掲載する取組

### 施策Ⅳ

農林水産物の付加価値向上と販路拡大、地産地消の推進

#### ◆取組例

- ・焼畑あつみかぶや越沢三角そば等の生産量拡大やブランド化等への取組支援 **〔新規〕**
- ・水産物のブランド化の推進 **〔継続〕**

### 施策Ⅴ

地場産農林水産物を活用した食品製造業の新商品開発や飲食店等の新規出店支援

#### ◆取組例

- ・飲食店等の創業・開業に必要な経費を支援 **〔新規〕**
- ・食品製造業の新商品の開発や商品改良に向けた支援 **〔継続〕**

## 基本目標－Ⅱ

## 食文化と共に歩む地域づくり

### 施策Ⅰ

食文化の継承と食育の推進

#### ◆取組例

- ・小中学校での行事食や郷土料理等を活用した取組の支援 **〔拡充〕**
- ・在来作物の保存・継承と需要創出に向けた取組の推進 **〔拡充〕**

### 施策Ⅱ

食による健康づくりの推進

#### ◆取組例

- ・乳幼児期からの望ましい食習慣の普及啓発 **〔継続〕**
- ・働き盛り世代の食生活改善に向けた普及啓発 **〔継続〕**

### 施策Ⅲ

食文化を生かした市民の主体的な活動の推進

#### ◆取組例

- ・豊かな食の郷土づくり研究会によるカンファレンス開催 **〔継続〕**
- ・市民の意欲的な食育活動の支援 **〔新規〕**

### 施策Ⅳ

学校給食発祥の地としての価値の創造

#### ◆取組例

- ・食文化創造都市特別献立や鶴岡いっぱい給食の実施 **〔継続〕**
- ・学校給食発祥の地を生かした取組の促進 **〔新規〕**

# 参考資料 | 原油価格・物価高騰等による大規模公共工事への影響及び対応について

労務単価が上昇し、長引く原油高、運送コストの高騰などにより建設資材メーカーの値上げが続いている。公共工事の実施にあたっては、引き続き、施工の合理化、仕様の見直しによるコストダウンやインフレスライド条項の協議をする場合、技能労働者の賃金水準の引上げについて適切に対応するよう工事受注者へ指導を行う。

## 《施工中の大規模公共工事の状況》

### ◆朝日庁舎・消防署朝日分署改築事業

R6年9月補正予算、R6年12月変更契約の議決 20,526千円増（機械設備工事）

### ◆荘内看護専門学校移転新築事業

R6年12月補正予算 70,400千円増（建築47,450千円、電気7,500千円、機械15,450千円）

### ◆加茂水族館リニューアル工事 : R7年度当初予算に計上予定



朝日庁舎  
(R7.2.3現在)

荘内看護専門学校  
(R7.2.3現在)





# 参考資料 2 地方大学・地域産業創生事業について

「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、食文化創造都市鶴岡に、山形大学と慶應義塾大学との連携により、**ガストロノミックイノベーション**を主導する研究開発拠点を構築し、そこから生まれる革新的な新食材や技術の活用により産業の創出を図る。

## ○事業概要

- 山形大学農学部と慶應義塾大学先端生命科学研究soとの連携による新産業の創出
  - ①納豆菌粉を用いた**新食材開発**
  - ②メタボローム解析技術を活用した**高付加価値食品開発**
  - ③新飼料開発やIoTを活用した肉用鶏飼養技術などの**食関連技術等開発**
- 「**鶴岡ガストロノミックイノベーション研究所**」の新設等によるバイオ技術を活用した**食分野における研究開発強化**
- 連携科目の開設等を通じた両大学連携による**食産業の開発分野で活躍できる研究開発人材の育成・輩出**

○事業計画期間 令和7年度～16年度（10年間）

○事業費 令和7年度～11年度までの総事業費 **約22億円**（うち**市実質負担額約1.6億円**）

※令和12年度以降については延長制度の活用を検討

事業費22億円内訳

国交付金（14億円）

市負担（8億円）

← 交付税措置  
（6.4億円）

→ 市実質負担  
（1.6億円）

令和7年度事業費 **約4.4億円**（うち実質**市負担額約0.3億円**）

# 参考資料 3 今冬の被害状況について

※1月31日現在

## 1 災害対策本部等の設置

1/9 15:00 鶴岡市朝日地域豪雪対策本部設置、鶴岡市温海地域豪雪対策本部設置

## 2 人的被害：3件

発生日	場所	被害様態	被害内容	性別	年齢	被害の原因
1/9	長崎地内	重傷	頭部挫創、頸椎骨折	男	69	雪の重みによる倒木
1/18	大網地内	重傷	左肘部開放骨折 骨盤骨折	男	77	屋根の雪下ろし中、転落
1/19	本郷地内	重傷	両膝蓋骨骨折	男	76	屋根の雪下ろし中、転落

## 3 住家被害：なし

## 4 農作物等被害：36件（別紙）

## 5 その他被害：24件（建物被害4件、倒木15件、その他5件）

## 6 積雪の状況：最大積雪深 単位/cm（日付）

鶴岡公園	藤島 庁舎前	羽黒 庁舎前	櫛引 庁舎前	朝日地域		温海地域	
				立岩	大網	庁舎前	温海川
53cm(1/10)	55cm(1/10)	62cm(1/10)	67cm(1/10)	110cm(1/10)	190cm(1/18)	15cm(1/10)	147cm(1/10)

# 別紙：農作物等被害について

## 1. 農業被害状況（1月31日現在）

区分		被害程度	件数	金額 (千円)	備考
農業施設	パイプハウス	全壊	15	45,920	
		半壊・破損等	6	5,760	
		ビニール破損	6	305	
		小計	27	51,985	
	その他	全壊	3	15,300	果樹棚・格納庫
果樹樹体		幹・枝折れ	6	精査中	西洋なし、かき等
合計			36	67,285	



## 2. 今後の対応

- ▶過去の支援事業等を参考に被災農業者の営農継続のための支援を検討中（3月補正予算を提案予定）